|  |
| --- |
| **２０３３．ＡＣＬ情報登録（ハウス単位）呼出し** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＡＣＬ１２ | ＡＣＬ情報登録（ハウス単位）呼出し |

１．業務概要

「ＡＣＬ情報登録（コンテナ船用）（ＡＣＬ０１）」業務（以下、「ＡＣＬ０１業務」という。）にて登録された複数のハウス単位のＡＣＬ情報を、マスター単位のＡＣＬ情報にまとめるためにＡＣＬ０１業務に先立ち、システムに登録されているハウス単位のＡＣＬ情報を呼び出す。

２．入力者

保税蔵置場、ＮＶＯＣＣ、海貨業

３．制限事項

１業務で入力可能なハウス用ブッキング番号は最大５０件とする。

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力者が海貨業またはＮＶＯＣＣの場合は、ＡＣＬ情報ＤＢに船会社として登録されているＮＶＯＣＣであるか、または通知先として指定された利用者であること。

③入力者が保税蔵置場の場合は、通知先として指定された利用者であるか、またはＡＣＬ０１業務でＡＣＬ情報ＤＢに通知先コード（ＣＹ・ＣＦＳ）として登録された蔵置場を管轄する利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照

（３）ＡＣＬ情報ＤＢチェック

①入力されたＮＶＯＣＣコード＋積載予定船舶コード＋積出港コード＋航海番号＋ハウス用ブッキング番号＋ハウス用ブッキング番号枝番（入力がある場合）に対するＡＣＬ情報ＤＢが存在すること。

②「ＡＣＬ情報登録（在来船・自動車船用）（ＡＣＬ０２）」業務により登録されていないこと。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）ＡＣＬ情報登録（ハウス単位）呼出情報編集処理

ＡＣＬ情報ＤＢよりＡＣＬ情報登録（ハウス単位）呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（３）注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に登録内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

６．出力情報

| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| --- | --- | --- |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| ＡＣＬ情報登録（ハウス単位）呼出情報 | ＡＣＬ０１業務で登録されたＡＣＬ情報を呼び出す場合 | 入力者 |

７．特記事項

（１）ＡＣＬ情報ＤＢからの抽出項目について

ハウス用ブッキング番号が複数入力された場合は、後述の①～㉘の項目について、ハウス用ブッキング番号に係るＡＣＬ情報ＤＢより情報を抽出し、出力する。

①積載予定船舶コード、積出港コード、航海番号

②船卸港コード、船卸港名

③荷受地コード、荷受地名

（Ａ）繰返しの先頭のハウス用ブッキング番号に係るＡＣＬ情報ＤＢより抽出する項目

④荷受形態コード、荷受形態名、荷渡形態コード、荷渡形態名

⑤荷渡地コード、荷渡地名

⑥最終仕向地コード、最終仕向地名

⑦輸出統計品目・代表番号

⑧インボイス番号

⑨個数、荷姿コード＊１、荷姿名（１欄目）

⑩貨物重量（グロス）＊２、重量単位コード（グロス）（１欄目）

⑪貨物重量（ネット）＊２、重量単位コード（ネット）（１欄目）

⑫貨物容積（グロス）＊２、容積単位コード（グロス）（１欄目）

（Ｂ）全てのハウス用ブッキング番号

に係るＡＣＬ情報ＤＢより抽出し、システムで計算して出力する項目

⑬貨物容積（ネット）＊２、容積単位コード（ネット）（１欄目）

⑭合計個数、荷姿コード＊１、荷姿名

⑮合計貨物重量（グロス）＊２、重量単位コード（グロス）

⑯合計貨物重量（ネット）＊２、重量単位コード（ネット）

⑰合計貨物容積（グロス）＊２、容積単位コード（グロス）

⑱合計貨物容積（ネット）＊２、容積単位コード（ネット）

⑲コンテナ本数

⑳記号番号＊３

㉑コンテナ番号＊４

㉒シール番号

㉓個数、荷姿コード、荷姿名

㉔貨物重量（グロス）、重量単位コード（グロス）

㉕貨物容積（グロス）、容積単位コード（グロス）

㉖コンテナサイズコード、コンテナタイプコード

㉗コンテナ自重、コンテナ自重単位コード

（Ｃ）全てのハウス用ブッキング番号に係るＡＣＬ情報ＤＢより抽出する項目

㉘設定温度、温度単位コード

㉙ＯＶＥＲ　ＬＥＮＧＴＨ（前）

㉚ＯＶＥＲ　ＬＥＮＧＴＨ（後）

㉛ＯＶＥＲ　ＷＩＤＴＨ（左）

㉜ＯＶＥＲ　ＷＩＤＴＨ（右）

㉝ＯＶＥＲ　ＨＥＩＧＨＴ

㉞内個数（コンテナ）

㉟レベル（コンテナ）

㊱荷姿コード（コンテナ）

㊲荷姿名（コンテナ）

（＊１）ＡＣＬ情報ＤＢに登録されている荷姿コードが全て同一でない場合は、荷姿コードに「ＰＫ」と出力する。

（＊２）ＡＣＬ情報ＤＢに登録されている数量単位コード（重量単位または容積単位）が全て同一の場合のみ、システムで合計値を計算する。

（＊３）抽出対象の記号番号が１８件を超えた場合は、先頭の１８件のみ出力する。

（＊４）抽出対象のコンテナ番号が２００件を超えた場合は、先頭の２００件のみ出力する。